

科目名	国際事情		
曜日・講時	水曜2限	教室	川北キャンパスC103
科目群	全学教育科目先進科目－国際教育		
単位数	2.0単位		
対象学部	全		
担当教員（所属）	木村 可奈子 所属：国際文化研究科		
開講期	1/3/5/7セメスター		
科目ナンバリング	ZAC-GLB801J		
使用言語	日本語		
メディア授業科目			
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。		
授業題目	【国際共修】 留学生と共に学ぶ韓国の社会と文化（日本語） Learn about South Korean society and culture with international students（Japanese）		
授業の目的と概要	<p>現在、世界で韓国のポップカルチャーが人気を集めているが、この授業ではその背後にある韓国の社会と文化について学ぶ。また受講者間でのグループワークを行い、毎回のトピックに関してそれぞれの出身国を含む世界の国・地域の状況について議論する。この授業を通し、受講者は異なる社会や文化に対する理解を深めるだけでなく、自身の国・地域の社会・文化について分かりやすく伝える能力を身につけることをめざす。</p> <p>South Korean pop culture has recently become popular around the world, and this course aims to help students understand the South Korean society and culture behind it. Students are also divided into groups to discuss the situation in these countries and regions in relation to the topics covered in class. Through this course, students not only deepen their understanding of different societies and cultures, but also develop the ability to communicate clearly about the societies and cultures of their countries and regions.</p>		
学習の到達目標	①韓国やその他の国・地域の社会と文化に関する知識を深める。 ②自身の国・地域の社会・文化について分かりやすく伝える能力を身につける。 1：Students understand the society and culture of South Korea and other countries. 2：Students develop the ability to communicate accurately about their own society and culture.		
授業内容・方法と進度予定	<p>この授業は対面で行います。</p> <p>1：イントロダクション 2：グループ設定と自己紹介 3：韓国の学生生活から見る韓国社会 4：韓国の政治と選挙 5：韓国の社会とジェンダー① 6：韓国の社会とジェンダー② 7：韓国の社会とジェンダー③ 8：韓国の社会とジェンダー④ 9：韓国の社会とジェンダー⑤ 10：韓国の祝日 11：韓国と日本① 12：韓国と日本② 13：発表の準備① テーマ設定 14：発表の準備② プレゼンテーションの大体の完成 15：グループ発表</p> <p>In-person class 1: Introduction 2: Group setting and self-introductions 3: South Korean society as seen through student life 4: Politics and elections in South Korea 5: Society and gender in South Korea I 6：Society and gender in South Korea II 7：Society and gender in South Korea III 8：Society and gender in South Korea IV 9：Society and gender in South Korea V 10: National holidays in South Korea 11: South Korea and Japan I 12: South Korea and Japan II 13: Preparation of group presentation I 14：Preparation of group presentation II 15：Group presentations</p>		
成績評価方法	平常点：20％ コメントペーパー：35％ グループワークと発表：45％		

		Participation and attitude in classes: 20% Minute Paper : 35% Group work and presentation:45%			
教科書および参考書					
書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
『僕の狂ったフェミ彼女』	ミン・ジヒョン著 加藤慧訳	イースト・プレス	2022		
関連URL					
授業時間外学習	課題文献を読むなどの予習、グループでの発表準備：週1－2時間程度。 Reading assigned literature, preparation for group presentations：1-2 hours per week				
実務・実践的授業 ※○ は、実務・実践的授業であることを示す。					
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】	必用				
連絡先（メールアドレス等）	全学教育HP掲載の「全学教育科目授業担当教員連絡先一覧」を参照。				
その他	留学生：東北大学日本語コースのレベル5程度を目安とする。 International students: Your Japanese proficiency should be around level 5 of the Tohoku University Japanese Language Course.				
更新日付	2025.1.16				

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。